

ORGAN avec BALLET

ORGAN
Composer-Classic-Contemporary

中田恵子

オルガン

遠藤康行

バレエ振付

元フランス国立マルセイユバレエ団ソリスト

オルガン・アドバイザー中田恵子プロデュース オルガンavec シリーズ vol.2
2024 .2.10 (土) 15:00開演 (14:15開場) 神奈川県民ホール 小ホール

出演：遠藤ゆま 三宮結 田中優歩 周藤百音 齊藤真結花

ゲストダンサー：渡邊峻郁 (新国立劇場バレエ団プリンシパル)

全席指定 一般 ¥4,500 / 学生 (24歳以下・枚数限定) ¥2,500

一般発売：9.30(土) / かながわメンバーズ KAme 先行発売 (インターネットのみ)：9.23(祝・土)

チケット 0570-015-415 (10:00~18:00) <https://www.kanagawa-arts.or.jp/tc/> (24時間)

かながわ 窓口 神奈川県民ホール / KAAT神奈川芸術劇場 (10:00~18:00)

神奈川県立音楽堂 (13:00~17:00 / 月曜休)



※就学前のお子様は、ご入場いただけません。

※車イス・補助犬をお連れでご来場の方は、事前にチケットかながわまでお問合せ・ご予約ください。

※演奏中はお入場いただけません。開演時間に遅れた場合は、案内係の指示に従ってください。

イベント託児マザーズ 託児料 ¥2,000 ※2024.2.2(金)までに要事前予約
[託児サービス] TEL.0120-788-222 (土日祝日を除く 10:00~12:00 / 13:00~17:00)

主催：神奈川県民ホール (指定管理者：公益財団法人神奈川芸術文化財団)
県民ホール・音楽堂 芸術参与：沼野雄司 / オルガン・アドバイザー：中田恵子

助成：文化庁文化芸術振興費補助金 (舞台芸術総合支援事業)
独立行政法人日本芸術文化振興会



オルガニスト×バレエダンサー 躍動の共演

言葉を伴わないという点で共通する音楽と舞踏。

「視覚芸術である舞踏を伴う時、音楽はBGMになってしまうのか？」

演奏家として、そんな疑問をいつもどこかに持ちつつ、小ホール顔でもあるオルガンとバレエを組み合わせたい衝動にかられた。

〈オルガンavec〉シリーズ第2弾。“avec”とはフランス語で「〜と一緒に」の意で、その名の通り県民ホールのオルガンと「何か」を組み合わせる化学反応を楽しもう、という企画だ。今年はオルガンとバレエの組み合わせに挑戦する。

手足を駆使して私がオルガンを弾く姿を見て「ダンスを踊っているようだ」と言う人も。お互いの呼吸や振動が聞こえてくるような、親密な空間で共に踊り奏でる時、バレエと音楽の新しい関係がそこに見えるのではないかと。この挑戦が、遠藤康行さんのマジックにかかり、私の問いにどんな答えを見せてくれるのか、楽しみで仕方がない。

神奈川県民ホール オルガン・アドバイザー

中田 恵子



Program

〈第1部〉

『ロバートブリッジ写本』(14世紀)よりエスタンピー・レトロヴェ

A. ヴァレンテ (ca.1520-1581): 松明の踊り

M. ヴェックマン (1616-1674): 第1旋法による5声の前奏曲*

J. パッヘルベル (1653-1706): カノン

J.S. バッハ (1685-1750): 小フーガ ト短調 BWV 578*

G. ボヴェ (1942-): ピンクパンサーのフーガ

G. ガーシュイン (1898-1937): アイ・ゴット・リズム

J-L. フローレンツ (1947-2004): 「賛歌」作品5より、第7曲 光の主

〈第2部〉

P. チャイコフスキー (1840-1893):

「眠れる森の美女」より、第1幕ワルツ

C. サン＝サーンス (1835-1921): 白鳥

F. メンデルスゾーン＝バルトルディ (1809-1847):

ソナタ 第1番より、アダージョ*

C.V. アルカン (1813-1888):

《ペダルのための12の練習曲》より、第4番

C. ドビュッシー (1862-1918): 牧神の午後への前奏曲

C-M. ヴィドール (1844-1937):

《オルガン交響曲第5番》より、トッカータ

*オルガン・ソロ

◎公演終了後に中田恵子と遠藤康行によるアフタートークを行います。

※曲目・曲順は変更になる場合がございます。

神奈川県民ホールのオルガン

製作: ヨハネス・クライス社 (ドイツ/ボン)

Johannes Klais Orgelbau (Bonn / Deutschland)



神奈川県民ホールのオルガンは、1975年1月の開館に合わせて、ドイツのクライス社により小ホールに建造されました。当時、公立ホールにオルガンが設置されたのは初めてのことでした。最初は舞台の右側にあったものを、90年に正面に移設して響きを改良し、2002年には内部構造や音色の改修を行い、より豊かで美しい響きとなりました。年間を通じて数々の演奏会で小ホールのシンボルとして広く皆様に親しまれています。

設置: 1974年9月 ストップ数: 30 バイブ数: 2,024本

中田恵子 (オルガン) NAKATA Keiko, Organ

東京女子大学卒業後、東京芸術大学卒業。同大学院修士課程、バリ地方音楽院の演奏家課程を修了。アンドレ・マルシャル国際オルガンコンクール優勝。併せて優れた現代曲解釈としてGiuseppe Englert賞を受賞。日本基督教団鎌倉雪ノ下教会オルガニスト、玉川聖学院オルガニスト、国際キリスト教団代々木教会オルガニスト、キリスト教音楽院講師、キングインターナショナルよりCD「Joy of Bach」「Pray with Bach」をリリース。

2021年4月より神奈川県民ホール オルガン・アドバイザーを務める。

遠藤康行 (振付) ENDO Yasuyuki, Choreography

1991年スターダンサーズバレエ団入団。94年文化庁在外研修員としてオーストラリアバレエ団へ。同バレエ団「ニュームープス」公演にて振付。98年村松賞を受賞。99年ベルギーのシャルロワダンス入団。2005年フランス国立マルセイユバレエ団にソリストとして入団、振付家としても数々の自作品を上演し同団のレパートリーとなる。20年近くにわたり海外の国立カンパニーで活躍後、2016年に帰国。エンドウ・バレエ主宰。桜美林大学非常勤講師。JAPON dance project メインメンバー。新国立劇場バレエ団コレオグラフィックグループアドバイザー (2019年より)。福岡ユースドリムサポートプロジェクト芸術監督。横浜バレエフェスティバル芸術監督。

“今回、中田さんのオルガン生演奏とのコラボで振付のオファーを頂き、小ホールの舞台上で中田さんに演奏を聴かせて頂きました。その響き、空間の空気の震えに衝撃を感じ、同時に作品にアプローチするための様々なワードが僕の頭の中を過りました。オルガンとバレエで新しいシナジーを生み出せたらと思っています。(遠藤康行)”

渡邊峻郁 (ゲストダンサー) WATANABE Takafumi, Ballet

福島県出身。鈴木寿雄のもとバレエを始める。2006年モナコ・プリンセス・アカデミーに留学し、マリカ・ベゾブラゾヴァらに師事。09年アカデミーを首席で卒業し、トゥールーズ・キャピトル・バレエに入団。『ジゼル』アルブレヒトなどの古典作品、バランシン、ロビンズ、キリアン、ドゥアト、サーブなど数多くの振付家作品を踊るほか、C.ベラルビ振付の新作『美女と野獣』では主役に抜擢された。16年新国立劇場バレエ団にソリストとして入団。『シンデレラ』で全幕主役デビューを果たす。その後『ジゼル』『くるみ割り人形』『白鳥の湖』『眠れる森の美女』『不思議の国のアリス』『ロメオとジュリエット』などの主役を踊っている。17年ファーストソリスト、19年プリンシパルに昇格。



神奈川県民ホール

〒231-0023 横浜市中区山下町3-1

☎045-662-5901 (代表) FAX045-641-3184

<http://www.kanagawa-kenminhall.com>

●みなとみらい線=渋谷駅から東横線直通で35分 横浜駅から6分

●日本大通り駅から徒歩約8分 元町・中華街駅から徒歩約12分

●JR=関内駅または石川町駅から徒歩15分

●市営地下鉄=関内駅から徒歩15分

●市営バス=芸術劇場-NHK前下車徒歩2分

横浜駅東口(バスターミナル 2番のりば乗車(所要時間約25分))

桜木町駅(バスターミナル 2番のりば乗車(所要時間約10分))

●県民ホール有料駐車場(84台)もご利用下さい。

指定管理者:(公財)神奈川芸術文化財団